

令和2年6月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和2年6月29日(月) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教育長	遠藤 浩	教育長職務代理者	山崎 克弥
委員	中野 信男	委員	秦 久美子
委員	斎藤 純郎	委員	小林 恵子

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路 一規	主 幹	鈴木 華奈子
学校教育課長	太田 和行	子育て支援課長	白井 健次
社会教育課長	石田 進一	統括指導主事	大森 亨

5 本委員会書記

学校教育課 向井 康弘 他1名

6 傍聴人

1名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 教育長職務代理者の指名について
- (2) 新型コロナウイルス感染症に対する教育委員会の対応について
- (3) 行事報告及び行事予定
- (4) 教育長報告
- (5) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第6号 共催・後援の教育長専決報告について

議案

議案第45号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 46 号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

議案第 47 号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第 48 号 令和 2 年度 学期の期間の変更について

#### その他

(1) 令和 2 年第 2 回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第 12 号）

2) 令和 2 年度燕市一般会計補正予算（第 1 号）

3) 燕市奨学金貸与条例の一部改正について

4) 令和 2 年度燕市一般会計補正予算（第 4 号）

5) 令和 2 年度燕市一般会計補正予算（第 5 号）

6) 令和 2 年度燕市一般会計補正予算（第 6 号）

7) 一般質問の概要について

## 8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時29分～

2. 会議録署名委員の指名 山 崎 克 弥 委 員

3. 諸報告

(1) 教育長職務代理者の指名について

〈遠藤教育長が指名〉

(2) 新型コロナウイルス感染症に対する教育委員会の対応について

〈大森統括指導主事、白井子育て支援課長、石田社会教育課長が報告〉

○委員（斎藤 純郎）

活動内容が時期によって様々で先生の対応が非常に難しかったと思うが、子供たちの安全を第一に考えて対応して欲しい。

○委員（小林 恵子）

他市町村の授業の様子を見ると、マスクをつけていない子が小学校では2、3名中学校では全員がマスクを着けている学校とそうでない学校が色々だった。燕市では授業中のマスクの着用について指示したことがしっかりと守られているのか。

また換気についてはどの学校にもエアコンがついているが、どのように行っているのか。

○統括指導主事（大森 亨）

マスクについては室内では全員着用をすることとしているが、正直しっかり着用しているとは言い難い生徒もいるため繰り返し指導を行っていききたい。

○学校教育課長（太田 和行）

換気の方法については、エアコンはつけたまま定期的に窓をあけて換気を行っている。

○社会教育課長（石田 進一）

文化会館の予約状況について説明をすると、現時点での利用はないが予約は少しずつ増えてきている。市主催の事業に関してはほぼ中止・延期となっている。

### (3) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

### (4) 教育長報告

〈遠藤教育長が以下のとおり報告〉

#### 0 はじめに

生活が元に戻ってきた。いいことなのだろう、でも、コロナウイルスはなくなっていない。さらに言えば、まだ「新型」のまま。感染リスクをどうやって低くしていくのか、本当に人と人とが距離をとることで何とかなることなのだろうか。

学校や園ではもっと厳しい状況だ。子供同士の距離をとり、その状態をある程度の時間、保持することはほとんどできないことである。手洗いうがいを小まめにさせるぐらいしか策が浮かばない。

#### 1 6月議会を終えて（いわゆる再質問に備えて用意していたコトバ）

##### (1) 小学校の運動会の中止について

○ 延期して2学期の実施とした場合、通常2学期に予定されていた行事を中止せざるを得なくなるなどの新たな課題も出てくる。こうした様々な検討を経た上で、苦渋の選択をした。

○ 学校行事が、いわゆる授業と大きく異なるところは、事前の準備・練習にはじまり、緊張感を感じながらの本番があり、そして振り返る。この大きな流れの中で、子供たちは様々なことを経験していく。上手くできないことにチャレンジしたり、仲間の存在を感じ、自分の意見と相手の考えを調整したり。授業では教員のコントロール下にあることがほとんどであるが、学校行事においては、子供たちの自発的な活動が多く求められる。

○ 間違いなく学校行事は子供たちの成長には欠くことのできないものであると認識している。

◎ すべての学校行事がこうしたプロセスを経ると仮定すれば、運動会という1つの行事がなくなったとしても、学校という場において、それを補うことは可能であると考えている。

◎ 確かに、運動会を楽しみにしていた子供にとって、残念であったと思う。しかし、運動会がなかったという事実を受け止め、納得して諦めるという思考の過程、すなわち悟るということも、必ず成長をもたらしてくれると信じている。

(子供の晴れ姿、親の気持ち)

○ 大人の立場、保護者の立場から、運動会の中止を考えてみると、運動会では普段の生活では見ることのできない子供の表情があり、汗だくになって活動する様子に確かな成長を感じることができるのも事実である。

○ しかし、今年ではできなかった。そのことを我々大人も保護者も子供たちと気持ち

を共有することが何よりも大事なことではないのかと考えている。その共感こそが、子供たちの成長を後押ししていくはずである。（どんな言葉をかけてあげたとしても、子供たちの心の傷は癒えない。）

#### (2) 新型コロナウイルス感染症と差別

○ 新型コロナウイルス感染症にかかる差別事案について考えてみると、誤った知識と情報が憶測を生み、噂が生まれていくことが根底にあると感じる。そして、その噂はSNSという現代的なツールによって拡散していく。

○ とすれば、正しい最小限の情報を発信すること、それは行政側の責任である。そして、受けた情報を正しく分析し、判断ができる能力を持っていただくこと、これは市民お一人お一人が意識して学ぶべきことということに帰着する。

○ 教育委員会としても、学校で行われる差別を生まない教育の場に市民の方にも参加していただくなど、市民の方の学びの場の提供についても考えてみたいと思う。

#### (3) 音楽パレードの中止と代替開催

○ 艶やかな衣装を纏い、一生懸命に練習してきたことを多くの人たちの前で発表することの教育的意義は十分理解はしているものの、今年度の現状にあっては、休校期間にできなかった学習面の遅れを取り戻すことを第一に据え、子供たちに今以上の大きな負荷をかけることは避けたいと判断していることから、音楽パレードあるいは鼓笛隊の発表の今年度の代替実施というのは厳しいと考えている。

○ 子供たちの生き生きとした活躍が、地域の皆様にエネルギーを与えることは十分に理解している。また、子供たちの活躍する姿そのものが地域の宝であることも理解している。しかしながら、学習面だけでなく多くの教育活動が2学期以降に移して実施される状況にあって、子供たちの負担を少しでも減らす配慮も忘れることはできないと感じている。

○ こうした状況を踏まえ、音楽パレードのもつ意義といったものは十分に理解しつつも、今年度の今から練習を始めることによる児童の負担増を考え、音楽パレードの代替開催については諦めざるを得ない。

#### (4) 中学校の部活動の大会

○ 中学校体育連盟が主催するすべての大会が中止となった。

○ 中学3年生への配慮として、地区大会の代替大会が地域の校長会で計画されている。市教育委員会としても、開催に向けた助言などを行っている。

○ いわゆる文化部についても、作品発表の場の設定など知恵を出したいと思う。

#### (5) 寄附報告

3件の寄附について

〈太田学校教育課長が説明〉

#### 4. 専決処分報告について

報告第 6 号 共催・後援の教育長専決報告について

7 件の後援について

〈No. 1、2、4、7 について太田学校教育課長が説明〉

〈No. 3、5、6 について石田社会教育課長が説明〉

##### ○委員（小林 恵子）

後援と共催の違いは、後援は名義貸し、共催は企画・財政面から関わるのが基本と思う。「燕市・西蒲原郡中学校 3 年生の活動の区切り（引退）の交流会」の申請が後援となっているが、施設の使用料は共催ではなくとも申請通りに減免されるのか。

##### ○教育次長（宮路 一規）

施設側のルールでは後援でも共催でも減免対象となっている。普通のスポーツ大会ではあまり共催はしないため、後援という形を取らせていただいた。共催と後援では減免率が異なるが、いずれにしても減免対象である。

#### 5. 議案

議案第 45 号 燕市立学校管理運営に関する規則の一部改正について

議案第 46 号 燕市立学校の在り方検討委員会委員の委嘱について

〈太田学校教育課長が説明〉

議案第 47 号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

〈白井子育て支援課長が説明〉

議案第 48 号 令和 2 年度 学期の期間の変更について

〈太田学校教育課長が説明〉

##### ○委員（斎藤 純郎）

議案第 45 号について、新型コロナウイルス感染症の影響で柔軟に学期を変更することは必要不可欠なことだと思う。

審議の結果、全員異議なく議案第 45～48 号は原案通り議決された。

## 6. その他

### (1) 令和2年第2回燕市議会定例会（教育委員会抜粋）

- 1) 令和元年度燕市一般会計補正予算（第12号）
- 2) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第1号）
- 3) 燕市奨学金貸与条例の一部改正について
- 4) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第4号）
- 5) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第5号）
- 6) 令和2年度燕市一般会計補正予算（第6号）  
〈各課長が説明〉
- 7) 一般質問の概要について  
〈宮路教育次長が説明〉

### ○委員（斎藤 純郎）

令和2年度燕市一般会計補正予算（第5号）中、Jack&Bettyプロジェクトの補正内容について説明をして欲しい。

### ○学校教育課長（太田 和行）

本来ならばスピーチコンテストで選ばれた生徒がJack&Bettyプロジェクトで今年度海外派遣され、ホームステイや燕市のPRを行う予定であったが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大でこの事業がなくなったため減額の補正を行った。来年度に確定はできないが、今回のスピーチコンテストで選ばれた生徒を海外派遣できるかどうかそれに代わる何かを現在検討中である。

### ○委員（中野 信男）

令和2年度燕市一般会計補正予算（第4号）中、ここで計上されている予算の使い道はどうなっているのか。人数を増やしたのか、既存職員の手当を増やしたのか。

### ○子育て支援課長（白井 健次）

増員した職員に対しての経費である。

### ○委員（中野 信男）

令和2年度燕市一般会計補正予算（第5号）中、ICT教育推進事業の内容について教えてほしい。

○学校教育課長（太田 和行）

昨年3月に校内LANとタブレット充電保管庫の設置工事を補正で行った。その後、令和5年度までに児童一人一人にタブレットを順に導入する予定だったが、この度の新型コロナウイルス感染症の拡大により、文部科学省から前倒しで今年度中に一人1台を整備する今年度限りの補助金がついたため、ここで追加の補正を行った。係る経費としてはタブレット端末に係る経費、それを支援するサポーターの経費、管理コンソール設計構築委託料を計上した。それによって小学1年生から中学3年生まで一人1台が利用できる環境となる。

○委員（中野 信男）

タブレットは自宅へ持って帰ることはできるのか。

○学校教育課長（太田 和行）

基本的には学校で使用し、長期休業がまた再度続くようであれば当然自宅へ持ちかえることにはなると思う。また現在は紙の教科書を使用しているが、デジタル教科書へ変更となった時には常時持ち帰りをすることも考えられる。しかし充電の件など色々問題もあるため、現在ルールを考えているところである。

7. 閉 会                      午後3時21分

教 育 長 遠藤 浩 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 山崎 克弥 \_\_\_\_\_

会議録調整者 竹田 亮子 \_\_\_\_\_